

【日々の研修コラム～初任者をみんなで支える・授業者支援会議～】

6月15日(水)に、初任者の研究授業の単元研究会を行いました。初任者の初めての単元研究会は、授業をしていく上での悩みに答える「授業者支援」を目的として行っています。初任者の悩みに答えようと、20人以上の先生方が集まり、アイデアを出し合うだけでなく、自分たちの授業も振り返り、学部間の指導内容のつながりや指導内容で示されている評価規準をより具体的な姿で考えていく必要性等についても活発に意見交換がなされました。

初任者にとっても、初任者以外の参加者にとっても、本校の明日の授業につながる会となりました。

高等部の初任者からは、

「小学部の先生から話をいただき、小学部の学びが高等部にまでつながっていることに改めて気づいた。担当している高等部の授業だけでなく、小学部、中学部での学んできた内容を学び、さらに授業を充実させていきたいです。ありがとうございます!」

「こうやらないといけないという固定観念が、いい意味で崩れて(先輩の先生方のアイデア、アドバイスを聞いて)、ああ、こういうやり方があるんだなと、授業場面での指導の引き出しが広がりました!」



今後も「学びを支え、高め合うチーム相馬」の学校経営・運営ビジョンのもとに、みんなで授業充実を図っていきたいと思います。

